

## 多くの歴史を物語る旧天文台

常磐公園にはたくさんの方の歴史があります。「天文台」(写真①)もその一つです。常磐公園の天文台は、北海道開発大博覧会(以下、大博覧会)の目玉として1950年(昭和二十五年)に設置され、2005年(平成十七年)に閉鎖されました。写真②は大博覧会後の常磐公園の様子です。昭和二十六年頃です。天文台は今と変わらない姿なのが分かります。

天文台を壊す動きもありました。しかし、大博覧会成功の証として記念に保存されました。天文台の望遠鏡は旭川市科学館サイバルに移されました。このような、旭川市にとって貴重な建物が常磐公園に今も残されています。

大博覧会は、常磐公園をメイン会場に開かれました。五十万人以上が詰めかけた北海道の戦後初のイベントだったそうです。写真③は当時のイメージ図です。まるでテーマパークのようです。今の常磐公園からは想像できない姿です。私たちは、大博覧会の映像を見ることができました。会場にいる人たちは、みんな笑顔で楽しい時間を過ごしていました。映像から、大博覧会に象が来ていたことも分かりました(写真④)。象は石狩川で水浴びをしていました。どうやら、脱走もしたようです。

大博覧会を機に、旭川は大きく成長したそうです。つまり、今残っている「天文台」は、旭川市民にとって大切なものなのです。なぜなら、旭川が大きく発展するきっかけとなった大イベントの記憶を物語るものだからです。



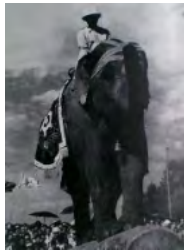
【写真①】 旭川旧天文台



【写真②】 常磐公園の様子 (昭和26年頃) 旭川市中央図書館所蔵



【写真③】 北海道開発大博覧会のイメージ図



【写真④】 象

写真③④ 『北海道開発大博覧会誌』 (旭川文学資料館所蔵) より

## 岩村通俊と永山武四郎

常磐公園には岩村通俊(いわむらみちとし)像(写真⑤)と永山武四郎(ながやま たけしろう)像(写真⑥)があります。岩村さんは、北海道庁の初代長官でした。一方、永山さんは、初代第七師団長でした。

永山さんは旭川市の「永山」を作った人でもあります。「永山」と言うのは、永山さんの「永山」から名付けられました。この二人は、旭川を開拓する前に、近文山(嵐山の近く)を登ったそうです。そして何も無い上川原野を見渡しながら、旭川の発展を願ったそうです。つまり、今の旭川市があるのは、この二人のお陰と言っても過言ではありません。

旭川市にとって大切な二人の像が、常磐公園に設置されています。私たちは、この二人が「旭川の生みの親」だと知ったとき、とても感動しました。また、この二人の像が、旭川市にとって重要なものだということを実感しました。

常磐公園に来たときは、是非、二人の像を見てください。そして、この二人が近文山で、どのような思いで何を話したのかを想像してみてください。そうすると、この像の見え方が変わってくると思います。



【写真⑤】 岩村通俊像



【写真⑥】 永山武四郎像

## 渡辺錠太郎と常磐公園碑の名前の秘密

常磐公園の表の入り口に「常磐公園碑」(写真⑦)があります。これは、昭和三年に設置されました。この碑の文字は、渡辺錠太郎(わたなべ じょうたろう)という方が書かせました。渡辺さんは、当時の陸軍軍人だった人です。

昔は常磐公園の「磐」の漢字の下は「皿」と言う漢字だったそうです。つまり、「常磐公園」だったのです。しかし、常磐公園碑には常磐の「磐」という漢字の下は「石」となっています。

なぜ石になったのかという諸説はたくさん残されています。その中でも多くの人に知られているのは、「皿はすぐ壊れる。石は永遠に壊れない。」と考えて、常磐公園が永遠に続いてほしいと思い「石」にした。というものです。この話を聞いて私たちは、そのような思いから「磐」になったことに驚きました。

常磐公園ができてから、百年以上経過しました。公園は今でも、市民の大切な場として残っています。きっと、昔の人たちの願いが込められた場所だから、今でも多くの人たちに愛されているのだと思います。



【写真⑦】 常磐公園碑

## 編集後記

私たちは、多くの人たちにこの新聞を読んでもらいたいと思っています。そして、常磐公園の歴史について知り、旭川市のことをもっと好きになってほしいと考えています。この学習を行うまでは、常磐公園の歴史について何も知りませんでした。ただの広い公園だと思っていました。でも、調べていくと、常磐公園には、たくさんの方の歴史があることに気付きました。そして、とても驚きました。

私たちは、常磐公園について知れば知るほど、この公園を大切に思う気持ちが強くなっていきました。そして、旭川市が好きになりました。ですから、これからも常磐公園について調べていきたいと思っています。そして、今以上に常磐公園が大切な場所になるかもしれません。他の人たちにも、私たちが感じた気持ちになってもらえたら嬉しいです。そのためには、まずは常磐公園に足を運ぶことが大切です。公園に行くと、景色を見たり、彫刻を眺めたり、建物をみたりして、公園を想像してみてください。そうしたら、きっと見えてくる世界が一変するはずです。